



平成23年度マイミュージアムギャラリー 第2回展示

思いを繋ぐ百徳きもの展

平成23年 5・21 **土** ~ 6・26 **日**



*サンブラー着物タペストリー (寺本康子)



*ログキャビン百徳着物 (山口千代子)



*三角つなぎの桜巾着 (高杉妙子)
*クレイジーのミニタペストリー (瀧川光子)



*イトポイントスターの百徳着物 (鈴木美智子)



*ミニちゃんちゃんこ (服部嵩子)



*クレイジー百徳着物
(百徳キルトの会)→

【背景】
*タペストリー (200cm×180cm)
「加賀の雅Ⅱ」(呉山裕子)

ごあいさつ

「思いを繋ぐ百徳きもの展」へお越しいただき、ありがとうございました。

百徳着物とは、金沢に江戸時代から伝わる親が子を思う母心から生まれた縫い物文化の一つです。生まれた子供の健やかな成長を願い、近隣、縁者の人から百の徳を得るようにと着物の端切れをもらい一針一針縫った着物です。千人針と同じ思いでしょう。日本では金沢にそういう風習が昭和初期まであったと伝えられています。また、金沢で残されている百徳着物には、背から魔が入らぬようにと背守りの付いている着物もあります。

現代の私たちの思いも同じです。日本版パッチワークとして「百徳キルトの会」は着物の端切れで、きもの、ちゃんちゃんこ、タペストリーなどを作りました。初めての作品展です。ゆっくりとご覧くださいませ。

出展者 百徳キルトの会 代表 呉山 裕子

百徳着物

江戸時代から金沢に伝わる百徳着物は、たくさんの着物の端切れを集めてつなぎ合わせて作られた着物です。百人の人から生地をもらい集めて着物を作るという風習からきています。この着物には、たくさん(=百)の徳をもらい、我が子が幸多く健やかに成長しますようにとの願いが込められています。金沢市の真成寺に奉納されている「百徳着物」は国指定重要有形民俗文化財に指定されています。



*糸巻きの百徳着物 (北村道子)



*四角つなぎの百徳着物 (百徳キルトの会)



*タペストリー (200cm×180cm)
【加賀の鞋Ⅱ】(奥山裕子)



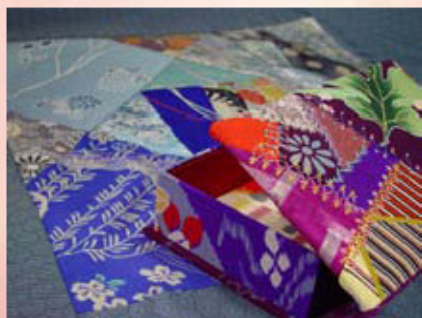
*花嫁のれん (間野節子)



*百徳ちゃんちゃんこ (林 富美子)



*折り帯スズド (田中式子)



*クレイジーのボックス (谷間加子)
*風呂敷 (新谷真枝)



*うちわのひんがし(江口外美子)

マイミュージアムギャラリー関連事業
百徳キルトカードをつくろう

講師：奥山裕子

日時 平成23年6月4日(土)
午後1時30分~午後3時30分
会場 岐阜県博物館 講堂
材料費 1200円および入館料
内容 古い着物生地を用いて、百徳着物をイメージしたカードを作ります。



マイミュージアムギャラリー 次回の予告

平成23年度 第3回展示 7/9(土)~8/21(日)
懐かしのヒーローズ ~子どもの頃の宝物~
出展者：加納八郎(揖斐川町)



鉄腕アトム、鉄人28号など昭和の懐かしのアニメヒーローをモデルにしたグッズのコレクションを紹介します。ソフトビニールやブリキの人形、お菓子のおまけ、シールなど誰もが見たことのある懐かしい品々ばかり約1000点を展示します。

コレクションや作品を展示してみませんか?

マイミュージアムギャラリーは、岐阜県に在住、在勤またはゆかりのある個人及び団体(法人等)のコレクションや生涯学習の成果の発表の場です。特に、貴重なコレクション、子どもさんが楽しめるコレクションや作品を歓迎します。

展示の条件などは、当館マイミュージアムギャラリーで配布のチラシの裏面に詳細が掲載してあります。その他、出展に関するお問い合わせは、下記までお気軽にお尋ねください。



申込み受付中!